

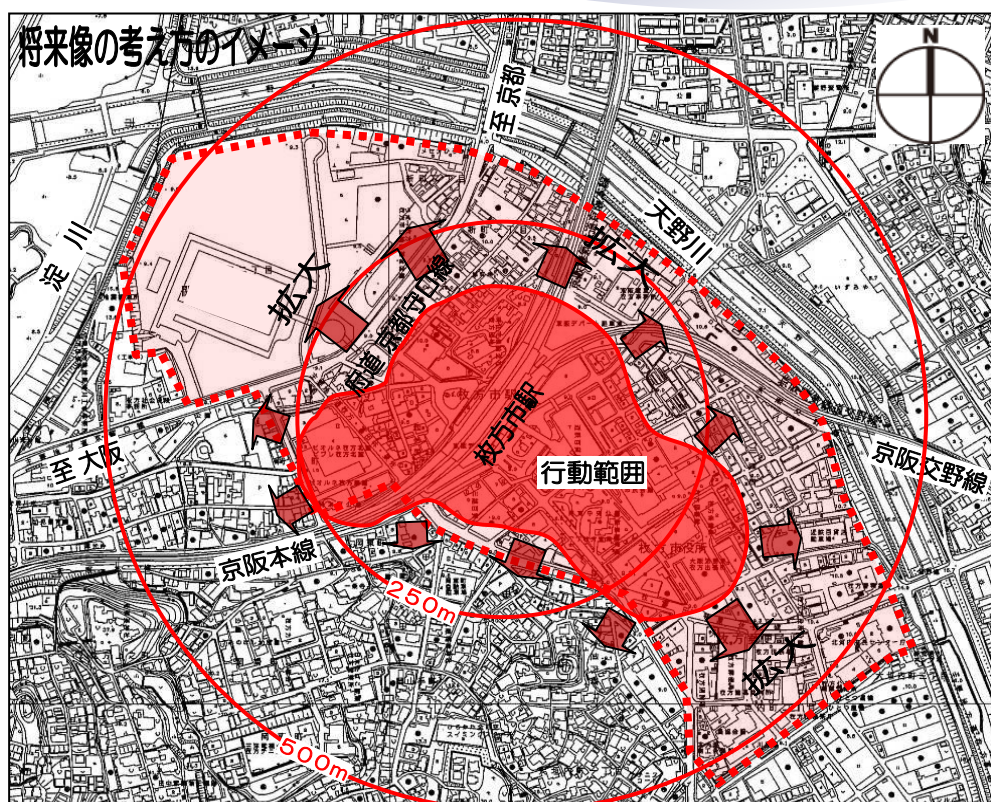
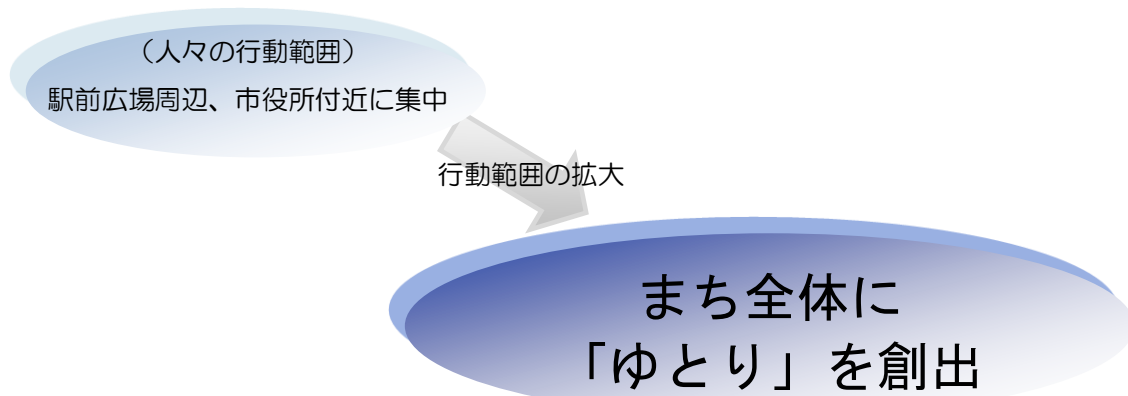
第3章：将来像

ここでは、前章において取りまとめた現状と課題を踏まえ、現在の人々の行動範囲を広げることにより、地域内のゆとりや賑わいを創出し、人が主役のまちづくりに取り組む将来像を示します。

(1) 将来像の考え方

これからのまちづくりは、単に課題対応型でまちを変えていくだけではなく、社会環境の変化や多様化する市民ニーズにも対応していかなければいけません。

なかでも、車社会からの転換や少子高齢化等、これからの時代の変化を見据え、人を中心としたまちづくりをめざし、商業、業務、行政機能等が集積している駅前広場周辺や市役所付近に集中している現在の人々の行動範囲を広げることによって、まち全体に「ゆとり」を創出することが重要と考えます。



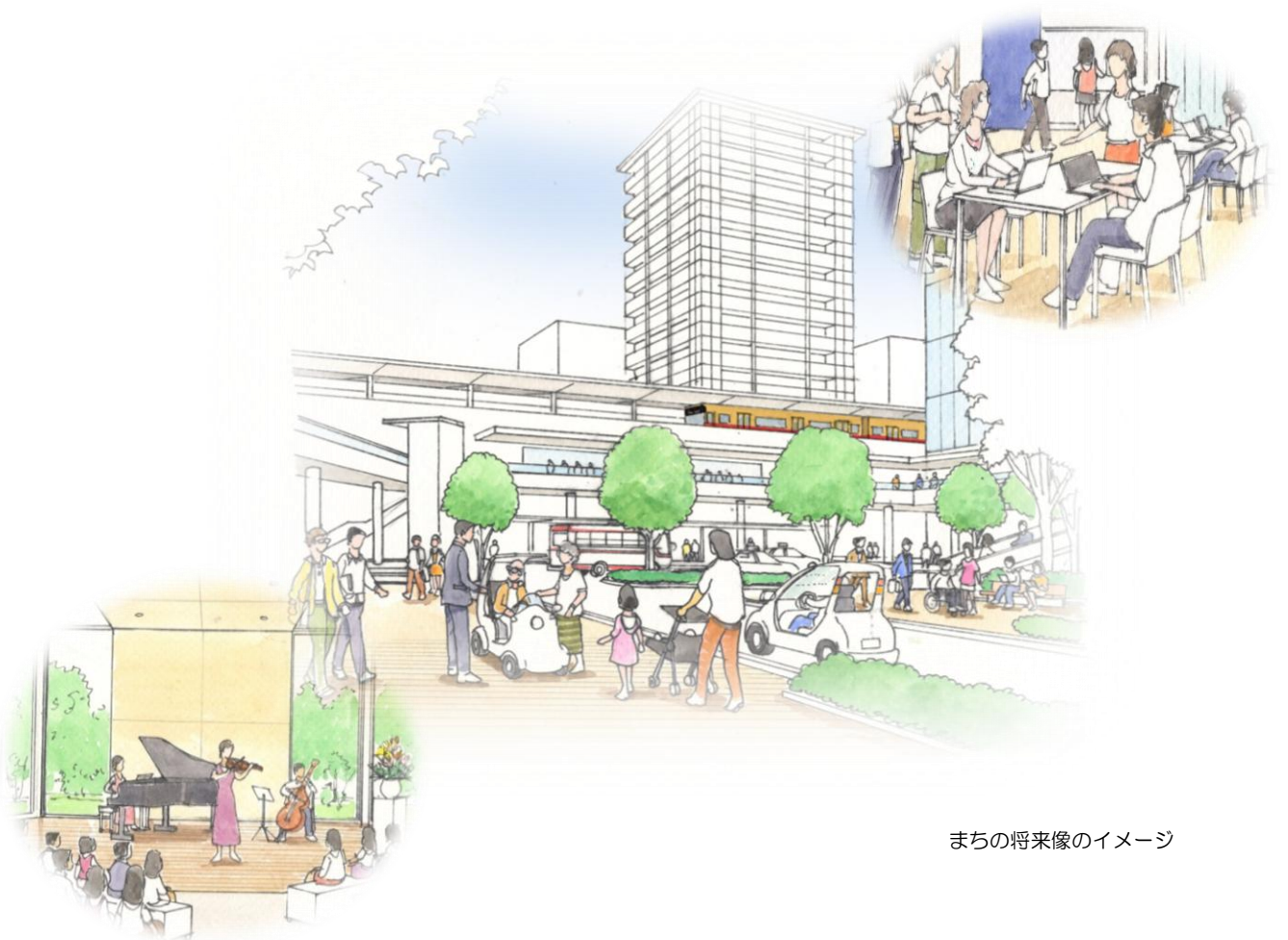
(2) まちの将来像 ～基本コンセプト～

～再発進 ひらかた 人が主役のゆとりと賑わいのまちへ～

将来像の考え方から、まち全体にゆとりを創出することによって、まちの回遊性を向上させるとともに、枚方市駅周辺地域が、地域住民、学生、就業者、来街者といった多様な人々の活動をサポートする場となり、賑わいのあるまちの形成が図られます。

また、安全で安心なまち、環境や景観に配慮したまち、少子高齢化社会等に対応したまちの形成をめざすとともに、歴史、文化や市民活動等の地域資源を活かした枚方らしさを創出することによって、まちの魅力を高め、それらの情報を積極的に発信していくことをめざします。

周辺都市も含めた広域都市圏の拠点にふさわしいまちの実力と品格を示していくために、情報を発信し、外に広がり前に進む（≒発進）ことをめざす再整備に取り組んでいきます。



まちの将来像のイメージ